

登録コード	TSG16500	開講年度	2026					
授業科目	光エレクトロニクス演習				担当教員	伊東 栄次		
英文授業名	Opto-Electronics Devices and Materials Tutorial 1				副担当			
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	工学専攻の修士1年生
講義室				授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】			
	2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ							
	【研究科共通】人類, 社会の平和的・持続的発展のために, 研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観				下記を光エレクトロニクス、有機・ナノ材料と関連デバイスに関連付けられることを目指す。			
	【研究科共通】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				下記を光エレクトロニクス、有機・ナノ材料と関連デバイスに関連付けられることを目指す。			
	【研究科共通】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				下記を光エレクトロニクス、有機・ナノ材料と関連デバイスに関連付けられることを目指す。			
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ							
	【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観				下記を光エレクトロニクス、有機・ナノ材料と関連デバイスに関連付けられることを目指す。【			
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力				下記を光エレクトロニクス、有機・ナノ材料と関連デバイスに関連付けられることを目指す。			
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力			
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				下記を光エレクトロニクス、有機・ナノ材料と関連デバイスに関連付けられることを目指す。			
(2)授業の概要	各自に与えられた研究テーマを通して薄膜やデバイスの作製と分析、性能評価などを行う。ゼミや学会を通して関連した他者の研究発表や報告を聴講し、ディスカッションを行う。 その他、データ収集・分析や報告書の作成とプレゼンテーション能力の育成を目指す。							
(3)授業計画	適宜、相談しながら行う。							
(4)成績評価の方法	日々の取り組みや成果、および報告会（ゼミ）や学会発表、論文作成等をもとに総合的に評価する。							
(5)成績評価の基準	継続的に研究室に来て、研究や関連する学習に取り組んでいる場合は60点、 自ら考えて継続的に自主的に取り組んでいる場合は70点、 さらに学会発表や研究論文発表などを年度内に1回以上おこなった場合は、その内容や回数などの程度に応じて80～100点とする。							
(6)事前事後学習の内容	適宜対応する。							
(7)履修上の注意	自ら工夫したり考えて積極的に学習する。難しい場合は頻繁に相談しながら学習する。							
(8)質問,相談への対応	適宜、日々のディスカッションや相談に応じます。							
(9)その他								
【教科書】								
【参考書】								